

平成
30年

新年の ごあいさつ



平川市長 長尾 忠行

明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より市政にお寄せいただいておりますご支援とご協力に対しまして、厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、本市の基幹産業である農業におきましては、雪の影響によるりんご樹の枝折れや黒星病の発生、さらには、秋の長雨により農作物への影響が懸念されましたが、稲作、畑作、果樹ともに大きな被害もなく、全般的に平年並みの収量を確保できましたことは誠に喜ばしいところであります。

市政におきましては、本市の今後10年間のまちづくりの指針となる第2次平川市長期総合プランを策定し、昨年4月よりスタートさせております。計画では「あふれる笑顔 暮らし輝く 平川市」の将来像のもと、目指す平川市のまちづくりの個性を「平川らしさ」として位置づけ、「海外に目を向けた観光・交流のまち」や「スポーツで元気なまち」など7つの項目を掲げ、平川らしいまちづくりを進めているところであり、昨年5月には平川市陸上競技場が竣工しました。陸上トップアス





リートを招いてのジュニア陸上教室、NHKラジオ体操・みんなの体操会などを開催し、多くの市民の皆様に参加いただき感謝を申し上げます。

観光分野では、本市の観光コンテンツの一つである「世界一の扇ねぷた」を新たに製作しており、これまでを超える高さ12メートルのねぷたの完成を目指しております。8月の平川ねぷたまつりでは、その勇姿をお披露目したいと考えております。

そのような中、今年は新本庁舎建設事業、また防災拠点施設を備えた新体育館建設事業など大型建設事業に着手することとしており、まちの賑わいの創出、安全・安心なまちづくりに全力で取り組んでまいります。また、友好交流協定を締結している台湾台中市へは可搬式ねぷたを新たに製作・輸送し、インパクトのあるPR活動により、交流人口の拡大を図ってまいります。

これらの取り組みが実りあるものとなり、市民

一人ひとりに笑顔があふれ、市民一人ひとりの暮らしが輝くまちとなるためには、市民の皆様のお力添えが必要であります。引き続き、全力で市政運営に取り組んでまいりますので、市民の皆様には、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって穏やかで希望に満ちた年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

